



東京ミッドタウン・デザインハブ  
〒107-6205 東京都港区赤坂 9-7-1  
ミッドタウン・タワー5F

Tokyo Midtown Design Hub  
5th floor, Midtown Tower,  
9-7-1 Akasaka, Minato-ku,  
Tokyo Japan 107-6205

TEL 03-6743-3776  
Fax 03-6743-3775  
http://www.DesignHub.jp  
info@designhub.jp

2014年5月13日

東京ミッドタウン・デザインハブ

## 「窓学 “WINDOWSCAPE” 展 ～窓の研究プロセスからミラノサローネまで～」 「窓」を通じて建築・都市・社会にはたらきかける「窓学」国内初の展覧会を開催

国際的なデザイン情報の発信拠点である東京ミッドタウン・デザインハブ（構成機関：公益財団法人日本デザイン振興会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ）は、「窓研究所」と共催で、東京ミッドタウン・デザインハブ特別展「窓学 “WINDOWSCAPE” 展 ～窓の研究プロセスからミラノサローネまで～」を開催します。

「窓学」は、2007年より窓に特化した独自の研究活動に取り組んでいます。窓を歴史的、文化的に位置づけると同時に、その意味や役割を見極め、窓の新たな魅力や可能性を提示することで、よりよい建築、都市、社会の構築に貢献することを目指して活動しています。本展では、国内では初めての「窓学」研究展示です。東京工業大学 塚本研究室との約7年にわたる共同研究成果を、豊富な資料とエピソードを交えて紹介します。また、本展示は、今年4月に行われた世界最大規模のデザインの祭典「ミラノサローネ」で発表した“WINDOWSCAPE”展の帰国展も兼ねており、多くの来場者を魅了したアトリエ・ワン設計の窓のインスタレーション（空間展示）や現地での模様を、模型や記録映像などにより紹介します。さらに、会期中は、窓に関する講演やトークセッション、ワークショップを多数開催します。

※ WINDOWSCAPE（ウィンドウスケープ）とは、「窓景」を意味する造語です。

### 東京ミッドタウン・デザインハブ特別展

#### 「窓学 “WINDOWSCAPE” 展

##### ～窓の研究プロセスからミラノサローネまで～

会 期 5月31日（土）～6月15日（日）

11:00～19:00 会期中無休

会 場 東京ミッドタウン・デザインハブ

東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー 5F

入場料 無料

主 催 窓研究所

共 催 東京ミッドタウン・デザインハブ

#### 「窓学」とは

「窓は文明であり、文化である」という思想のもと、窓に特化した独自の調査研究「窓学」に取り組む YKK AP 株式会社が、2007年から始めた活動をさらに推進する目的で、2013年に「窓研究所」を設立。窓文化創造に向けて、窓の専門知識を収集・保存し、その魅力や新しい可能性を社会へと発信・提言しています。今回の企画展示の他、窓学での研究成果は一部、書籍化されています。

YKK AP 窓研究所ホームページ <http://www.ykkap.co.jp/madoken/>

東京ミッドタウン・デザインハブ <http://www.designhub.jp/>

報道・一般からのお問い合わせ先：YKK AP株式会社 広報室 担当：長沼・法月（のりづき）

電話 03-3864-2321 E-mail : [k\\_ykkap@ykkap.co.jp](mailto:k_ykkap@ykkap.co.jp)



## ● 展覧会の構成

「窓のふるまい学」「窓の街並学」「窓の系譜学」をテーマに、東京工業大学 塚本由晴研究室が世界約 30 カ国で採取した窓の写真、図面、スケッチ等の豊富な資料を、フィールドワークのプロセスや調査エピソードとともに公開します。また、今年 4 月にイタリア・ミラノで行われた世界最大規模のデザインの祭典「ミラノサローネ」に出展した“WINDOWSCAPE”展において、塚本由晴氏率いる建築家ユニット、アトリエ・ワンが設計した窓のインスタレーション（空間展示）や、「窓学」研究成果の展示、現地での模様も併せて紹介します。

### 【ミラノサローネ “WINDOWSCAPE” 展の様子】

#### インスタレーション “Kaleido-window”

約 60 もの鏡面仕上げの窓からなる幻想的な空間。子供から大人まで、無意識のうちに窓に惹きつけられ覗き込んでしまう。多くの人が窓の世界を体感し、窓の力を再発見しました。帰国展では、この展示の模様を模型や図面、映像等で紹介します。



#### 「窓学」研究展示風景

研究成果から、世界の窓の写真と図面資料をポスターとして展示。このポスターによる研究展示は、帰国展でも一部再現します。来場者はミラノと同じ美しい窓のポスターを実際にお持ち帰りいただけます。部屋に貼れば、そこに、新たな窓が生まれます。



## ● トークセッション&ワークショップ

多彩なフィールドの最前線で活躍する方々を迎え、窓に関するトークセッションとワークショップを多数開催します。

### トークセッション①『窓とアート』

日 時：5 月 31 日（土）17:00～19:00（定員 100 名、当日先着順、無料）

登壇者：五十嵐太郎（東北大学大学院教授、建築批評家）、保坂健二郎（東京国立近代美術館主任研究員）、鎌田友介（アーティスト）

### トークセッション②『窓のフィールドワーク』

6 月 7 日（土）17:00～19:00（定員 100 名、当日先着順、無料）

登壇者：能作文徳（東京工業大学助教、建築家）、金野千恵（KONNO 代表、日本工業大学助教、建築家）、川勝真一（RAD ディレクター、リサーチャー）

### トークセッション③『窓を語る』

6 月 14 日（土）17:00～19:00（定員 100 名、当日先着順、無料）

登壇者：塚本由晴（東京工業大学大学院准教授、アトリエ・ワン）、佐藤浩司（国立民族学博物館准教授、建築人類学者）、中谷礼仁（早稲田大学教授、歴史工学研究）

### ワークショップ『窓のフィールドワーク（実践編）』

東京の街を歩きながら魅力的な“窓”を採取します。参加者が見つけたサンプルから“窓”の魅力を伝えるドローイングを作成します。講師らが世界中で行ってきたフィールドワークを、東京を舞台に体験できるワークショップです。

6 月 1 日（日）10:00～17:00、6 月 7 日（土）10:00～16:00（各回先着 20 名、事前申込制、参加費無料）

講 師：能作文徳、金野千恵

## 東京工業大学 塚本由晴研究室

アトリエ・ワンの塚本由晴氏は、教鞭を執る東京工業大学塚本研究室において建築設計、学術論文、都市リサーチなどの幅広い教育活動を行っています。『ペットアーキテクチャー・ガイドブック』『メイド・イン・トーキョー』などリサーチをまとめた著作の他、『ガエ・ハウス』『みやしたこうえん』『東京工業大学 環境エネルギーイノベーション棟』などの建築作品があります。YKK APとの共同研究「窓学」の関連書籍は、2010年に『WindowScape 窓のふるまい学』、2014年に『WindowScape2 窓と街並の系譜学』（ともにフィルムアート社）が出版されました。